

EU と日本における橋梁の UHPFRC 補修に関するワークショップ

主催：鋼道路橋研究委員会複合構造小委員会
コンクリート研究委員会国際交流小委員会
後援：(一財)災害科学研究所 J-ティフコム技術研究会
予定 (公社)日本コンクリート工学会北海道支部

本ワークショップでは、UHPFRC の材料開発および現場製造技術を構築したスイス連邦工科大学のオイゲン・ブリュービラー教授をお招きし、EU における橋梁の補修の現状と最近の動向についてご講演いただきます。UHPFRC による補修は、緻密な材料構造による劣化因子の遮断と合わせて、構造部材の剛性と強度の向上も見込める工法であり、特に損傷劣化 RC 床版の補修や鋼床版合成化において延命効果が期待できる工法です。また、日本の橋梁の長寿命化に向けた動向や橋梁床版の更新および補修補強に関する最新の知見を提供することを目的に各方面からのご講演もお願いしております。関係技術者の皆様にとって有意義な機会となると考えておりますのでご多忙とは存じますが、多くの方々にご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

日 時： 令和 5 年 8 月 2 8 日 (月) 13 : 30 ~ 16 : 30

場 所： 北海道大学 工学部フロンティア応用科学研究棟 1 階 セミナー室
札幌市北区北十五条西 8 丁目

プログラム：(土木学会認定プログラム申請予定)

13 : 30 ~ 13 : 40 開会挨拶

鋼道路橋研究委員会複合構造小委員会 幹事 野田 勝哉

13 : 40 ~ 14 : 40 「欧州におけるコンクリート橋梁構造物の補修・補強に関する研究報告」
スイス連邦工科大学ローザンヌ校 オイゲン・ブリュービラー教授

14 : 40 ~ 14 : 50 休憩

14 : 50 ~ 15 : 20 「コンクリート床版の的確な維持・更新に向けた寒地土木研究所の取組」
寒地土木研究所寒地構造チーム 主任研究員 角間 恒 氏

15 : 20 ~ 15 : 50 「J-ティフコムで補修を施したコンクリート床版の押し抜きせん断試験」
北海道大学 松本 高志 教授

15 : 50 ~ 16 : 20 「日本における UHPFRC の活用状況と、橋梁の維持・更新への展開動向」
大成建設技術センター社会基盤技術研究部 先端基盤研究室長 武者 浩透 氏

16 : 20 ~ 16 : 30 閉会挨拶

コンクリート研究委員会国際交流小委員会 小委員長 寿楽 和也

※講演が英語の場合には和訳付きの資料を用意いたします。

参加定員： 50 名

参加費： 無料

申込方法： E-mail にて問合せ先にお申込ください。メール件名：8/28 ワークショップ 申込
E-mail 本文に①E-mail アドレス ②ご氏名 ③ご所属を明記願います。

申込期限： 令和 5 年 8 月 2 1 日 (月)

問合せ先： 鋼道路橋・コンクリート研究委員会事務局 青野 mak458@docon.jp
電話：011-801-1540 (ドーコン構造部代表)